

## 補助金・交付金見直し作業における概要

### 1 見直しの方向性

公平で公益性のある事業に対する補助制度の確立を目指し、特定（固定）の団体へ支出している補助金・交付金を基本に見直しを行う。

「団体補助金の見直し」と「公募型補助制度の創設」

### 2 補助金・交付金の内容

(1) 要綱等を基本に補助事業の目的・内容、支出相手先（不特定・特定(固定)）を整理、分類した「補助金・交付金項目一覧」を作成

184項目 約26億5,800万円を支出(平成21年度決算額)

【支出相手先別】

支出相手先が、不特定多数の市民や団体へ支出するもの

65項目 約11億3,000万円(平成21年度決算額)

事業の性質上、広く一般の市民や団体等を対象とする支出相手先を特定しない補助金

支出相手先が、特定の団体や固定化された団体へ支出するもの

119項目(900団体) 約15億2,800万円(平成21年度決算額)

支出相手先の団体等を特定しているもの、また、要綱では相手方を特定していないものでも事業の性質上、特定の団体等へ継続して支出しており相手方が固定化されている補助金

(2) 主な補助金・交付金の内容説明

別紙「補助金・交付金項目一覧」に基づき説明

### 3 見直しの視点等について

見直す対象を整理するため、各補助金を性質・内容等により分類する基準を策定する。

対象が不特定多数の市民や団体へ支出する補助金

対象が特定の団体や固定化された団体へ支出する補助金

- <案>
- a 委託料的性格を有するものか
  - b 補助対象が事業実施経費となっているか
  - c 補助対象が団体の管理運営費が主となっているか
  - d 行政と団体等の協働の度合はどうか
  - e 公益的な団体(出資団体等)に対する補助金か
  - f 社会保障や歴史的価値等から支援すべきか
  - .
  - .
  - .

見直しの視点

に該当する補助金を様々な視点から公益性の度合を判断し見直しを進める！！

### 4 今後の検討について

各補助金の内容・課題等を整理しつつ、適切な分類の視点を設けることにより、補助金の検証・審査を行うための基準策定に向け検討を行う。